



### 《10周年記念式典への参加・ご協力ありがとうございました。》

12月7日（土）に、矢向あけぼの保育園の10周年記念式典を開催いたしました。卒園児や在園児、保護者そして各関係の方々にお集まりいただき、盛大な会になり本当にありがとうございました。

2014年から開園し、卒園児は約100名ほどです。初期の卒園児は中学生になっています。園内の見学では、椅子を見て「こんな小さかったんだ。座ってみたいと」写真を撮ってみたい、自分が小さかった頃の写真を探していたりと、とても懐かしがっていました。これほどまで集まっていただけでは想定できず、集まっていた方々には、窮屈な感じになってしまい申し訳ありませんでした。卒園児が久しぶりに園舎に入ったり、友だちに会えたりと、ちょっとした同窓会になっていました。この園が、少しでも『来てよかった』と感じていただけたらと願っています。

卒園児の子ども達がこれだけ参加していただいたのは、保育園時代が楽しかったという事なのだと思います。来園した小学生の男の子が「保育園は、よくお魚食べたなあー」といっていたり、「あっ、ここの公園で木登りして遊んでたよな。保育園はいいなー学校は勉強ばかりだから…」と友だち同士で話している姿が印象的でした。これからも、子どもたちにとっては楽しく心豊かに成長していけるように、保護者の皆様には、安心して預けていただける保育園をめざし、これからも職員と共につくっていきたくと強く心に留めました。

保護者の方々はじめ各関係者の方々のお力をお借りすることも多いと思います。これからも、どうぞよろしく願いいたします。



### 《保育園の看板ができました》

矢向あけぼの保育園の看板を設置する事が出来ました。園舎見学で来られる方々が、「ここに保育園があるのを、知らなかった。」という声をよく聞いていました。ビルのオーナーのヒューメディカさんともご相談させていただき許可をいただきました。業者の方も、10周年記念式典に間に合わせましょうとすぐに動いてくださり、取り付けることができました。大きい看板は、高架橋のところから下ってくると見えます。反対側は、2階ベランダ横に取り付けています。少しでも、地域の中で保育園の存在をアピールできると思います。

看板の鳩のマークは、共同保育所時代の保護者が書いてくれました。記念誌の編集後記にも載せましたが、子どもが自由に世の中に飛び立って欲しい思いと、これからも平和であって欲しいという願いで描いたそうです。

以前、認可運動を進めているときも、この鳩のマークから一步一步進んでいこうという事で、「歩っ歩の会（ぽっぽのかい）」という後援会がありました。認可園ができたことで解散となりましたが、社会福祉法人あけぼの会になったとしても、これからの繋がりを大切にしていきたいことや、地域の中での在り方も含めて応援していただける方々を集っていきたくと考えております。後援会の細かい内容など決まりましたら、お知らせしていきたいと思しますので、その時は参加していただきたいと思っております。